

レセプト情報・特定健診等情報データベースの申出者対応部門の充実

研究分担者 満武 巨裕

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構、副部長

研究要旨

本報告書では、申出者へのレセプトデータ提供サービス機能をすでに開始している諸外国の調査することで、今後の日本におけるレセプト情報・特定健診等情報データベースの情報提供機能について検討する。

昨年度は、日本と同様の国民皆保険制度を導入し、レセプトデータを既に研究者へ提供している韓国および台湾を調査対象とした。日本と同様の皆保険制度が導入され、診療報酬点数制度も採用されている両国は、日本の参考になる点も多い。例えば、既に台湾は被保険者ファイル(ID)から、100万人をランダムサンプリングし、抽出された被保険者の入院、外来、調剤レセプトデータを提供している。韓国は、近年同様のデータセットの試行提供がはじまったため、今年度は韓国を対象とした。

韓国は、日本における審査支払機関に該当する HIRA(The Health Insurance Review and Assessment Service (健康保険審査評価院): 以下、HIRA とする)が、HIRA-NPS (HIRA National Patient Sample (健保審査評価院・患者標本資料): 以下、HIRA-NPS とする)の開発を行った。HIRA-NPS とは、韓国国内において1年間に医療機関を利用した全患者対象(約4600万名)を母集団として、性別・年齢(5歳単位)区間による患者単位の層化系統抽出を行ったデータセットである。初めに作成された2009年版のデータセットには、抽出された入院患者の約70万人・外来患者約40万人の1年間のすべての診療内訳と処方内訳が含まれる。開発目的は、1)健康保険に関する診療情報の利活用の増大、2)情報公開を促進させると同時にHIRAのデータ提供に要する業務を効率化させることである。そのために、HIRAは事前に作成したHIRA-NPSを研究者に提供することで、上記の目的を達成しようとしている。

HIRAが行ったHIRA-NPSの検証結果は、入院病名における高頻度順の100疾患においてHIRA-NPSと母集団の割合が同一であり、HIRA-NPSと母集団の月別患者当たりの平均医療費および分散がほぼ一致したことが報告されている。一方で、HIRA-NPSは抽出データなので、抽出頻度が少ない希少疾患の分析が困難であること、期間が1年間のため、有病期間が長い慢性疾患などの分析にも適していないことが指摘されている。

日本のレセプト情報等データベース(以下、NDB)から提供されるデータセットは、厚生労働省側で複雑な構造の電子レセプトを研究者の要望に応じて、ある程度分析し易

い形式に加工して提供する特別抽出と一月分のサンプリングデータの提供サービスが存在している。加えて提供件数の増加につながると共に負担軽減にもつながると考えられる、汎用性の高い基本データセットの設計と作成が検討され、今年度から試行提供が始まった。したがって、韓国の HIRA-NPS は、今後の日本の汎用性の高い基本データセットの提供サービスを拡充する上で有益であると考えられる。

A. 研究目的

レセプト情報・特定健診等情報データベース（以下、NDB）は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、医療費適正化計画の作成、検討のための資料を作成することを目的に国（担当部局：厚生労働省・保険局・保険システム高度化推進室）が構築・管理している。NDB は、2009 年度から全ての電子レセプト、2008 年度から導入された特定健康診査（以下、特定健診）・特定保健指導のデータを収集しており、悉皆性の高いデータを保持している。

医療サービスの質の向上を目的とする公益性の高い研究等にも活用するために、本データの研究者等への第三者提供が 2011 年度から試行的に開始された。

本研究では申出者へのレセプトデータ提供サービス機能をすでに有している諸外国の仕組みを調査することで、今後の日本における適切なサービス提供機能について検討する。

今年度は、近年新たなデータセットの提供がはじまった韓国を対象とした。韓国においては、日本における審査支払機関に該当する HIRA(The Health Insurance Review and Assessment Service (健康保険審査評価院)：以下、HIRA とする)が、HIRA-NPS (HIRA National Patient Sample (健保審査評

価院・患者標本資料)：以下、HIRA-NPS とする)という、性別・年齢(5 歳単位)区間による患者単位の層化系統抽出を行ったデータセットの開発を行った。

開発目的は、1)健康保険に関する診療情報の利活用の増大、2)情報公開を促進させると同時に HIRA のデータ提供に要する業務を効率化させることである。そのために、HIRA は事前に作成した HIRA-NPS を提供することで、目的を達成しようとしている。

2009 年版の HIRA-NPS には、入院患者の約 70 万人、外来患者約 40 万人の 1 年間のすべての診療内訳と処方内訳が含まれる。

B. 研究方法

韓国の HIRA-NPS の作成は、1 年間に医療機関を利用した全患者(約 4600 万人)を対象に、性別・年齢(5 歳単位)区分によって患者単位の層化系統抽出を行っている。2009 年版(該当年度 1 月から翌年 3 月までの審決資料を基準に該当年度 1 年分の診療内訳を構築)の HIRA-NPS には入院患者の約 70 万人、外来患者約 40 万人が含まれる。データ項目には、標本抽出患者 1 年間のすべての診療内訳と処方内訳が含まれる。ただし、算出(抽出)基準は今後

変更されることがあることが、明記されている。

韓国では、HIRA-NPS の提供開始まで、以下の経過をたどっている。2009 年度、「診療情報の標本資料提供案に関する研究」を実施し、保健医療関連学会との諮問会議開催を 3 回行った。その後、HIRA と 5 つの学会との MOU 締結(2010.12.21)している。さらに、HIRA-NPS の妥当度の検証のための MOU 学会会員対象の資料説明会開催(2011.02.09)、第 23 回審評フォーラム"健康保険審査評価院患者標本資料を利用した学術シンポジウム"を開催して 17 の研究結果発表 (2011.10.06)している。さらに、個人情報及び手数料算定に対する法規部検討を行った後、HIRA-NPS の提供手続きが開始(2012.04.30)された。

C. 研究結果

HIRA が行った HIRA-NPS の検証結果は、入院病名を高頻度順の 100 疾患において HIRA-NPS と母集団の割合が同一であり、HIRA-NPS と母集団の月別患者一人当たりの平均医療費および分散がほぼ一致していたことを報告している。分散分析(一元分散分析)において、95%信頼区間で HIRA-NPS と母集団の平均と分散の集団間の差がなかった。病名では、脳卒中および妊娠中毒症の患者の診療行為について観察している。両方の疾患共に、母集団と HIRA-NPS では、同様の傾向が観察されたことを報告している。

D. 考察

これまで、韓国 HIRA のレセプトデータに関する提供サービスは、申し出者の要望

に応じて独自にデータセットの提供を行うサービス、外来・入院のレセプトをランダムサンプリングしたデータセット、小児と高齢者のレセプトのみのランダム抽出データを提供していた。これらのデータ提供機能に加えて、HIRA-NPS が加わることになる。一方で、HIRA-NPS は抽出データなので、抽出頻度が少ない希少疾患の分析が困難であること、期間が 1 年間のため、有病期間が長い慢性疾患などの分析にも適していないことが指摘されている。

現在、日本のレセプト情報等データベース(以下、NDB)から提供されるデータセットは、厚生労働省側で複雑な構造の電子レセプトを研究者の要望に応じて、ある程度分析し易い形式に加工して提供している。そのために、汎用性のあるデータセットを事前作成しておくことで、提供件数の増加につながると共に負担軽減にもつながると考えられ、レセプト情報等データベースの利用促進のために、汎用性の高い基本データセットの設計と作成が検討され、今年度から試行提供が始まった。したがって、韓国の HIRA-NPS は、日本の基本データセットを考える上で有益であると考えられた。

最後に、HIRA ではレセプトデータをソウル本院で、研究者・行政関係者が利用できるオンサイトセンタが開設されている。加えて、民間企業等に対しても、限定された項目のみであるがオンサイトセンタが利用可能であることが判明した。民間企業に対するデータは、公共データとよばれている。ただし、製薬会社(企業)が利用する場合は、自社製品のみを参照できる。他社製品の情報を閲覧したい場合には、

該当する会社(他社)から医薬品情報に関する情報提供同意書が必要となる。

E. 結論

本年度は、韓国の HIRA-NPS について調査を行った。日本の NDB レセプト情報等データベースの利用促進のために、汎用性の高い基本データセットの設計と作成が検討され、今年度から試行提供が始まったため、韓国の HIRA-NPS は、日本の基本データセットを考える上で有益であると考えられた。

F. 研究発表

1) Naohiro Mitsutake, The use of the national healthcare database for research in Japan, 25th European Medical Informatics Conference, Aug 31st - Sep 3rd, 2014

G. 知的所有権の取得状況

該当なし